



森の学校～大阪市立大学編～

奈良県南部農林振興事務所 林業振興第二課

当課では、毎年、大阪市立大学工学部建築学科で木造建築物を学ぶ学生に対して、木材の原点である森林や林業などの現場体験を通じた木材についてより深く理解し、公共建築物においてどのように木材が使用されているか、下刈り・間伐の経験や製材所見学、村を代表する大型木造建築物である十津川中学校や十津川村復興住宅の見学を実施しました。有意義な時間になったと思います。
平成27年8月26, 27, 28日実施。



下刈り・間伐体験

慣れない山道を歩き、足場の悪い急傾面で、鎌を使った下刈り、鋸を使った間伐をしてもらいました。

間伐は最低一人一本以上伐ってもらえるように、課員、役場、森林組合総動員でサポートしました。

また、山から切り出された木が製材される過程を見るために、間伐した木を玉切りし、担いで運び出しました。



製材所見学

十津川村森林組合木材加工流通センターは、十津川材を製材・乾燥・加工し、ネットワークを通じて都市部の工務店へ製品を供給しています。

学生が間伐し、運び出した丸太が製材され、製品になるまでの一連の流れを見学し、倉庫に保管されている製品が建物のどの部分に使うのかを職員の説明を聞きながら、見学してもらいました。



十津川村立十津川中学校

村内の4つの中学校が統合し、平成24年4月に開校した木造校舎で、地元の木をふんだんに使った木の香り漂う空間となっています。

十津川村役場の担当者から建物の構造や特徴、建設当時の苦労話などを聞きながら、建物に木材を使用することの大切さを学んでもらい、教室や体育館、宿舍等を見学してもらいました。



十津川村復興住宅

2011年9月の「紀伊半島大水害」からの復興への取組の一つとして「十津川村復興モデル住宅」と「復興公営住宅」が建設されました。

十津川村の気候や景観、生活様式などに配慮した住宅となっており、実際に平屋建てタイプ、二階建てタイプのモデル住宅に入り、十津川村役場の担当者から説明を聞きながら見学してもらいました。

